

令和4年度小平市立学園東小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、今後の児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための調査です。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等、また、知識・技能を実生活の様々な場面で活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関することを児童が答える調査です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

全体の平均正答率は東京都を5ポイント、全国を1.6ポイント下回った。

全14問中3問が東京都と全国を上回り、すべてが「思考・判断・表現」を問う問題（記述式2問、選択式1問）である。

全14問中9問が東京都と全国を下回った。正答率の低い問題を順に挙げると、①「漢字の読み書き」、②「書き直した手紙文を見比べ、読みやすく修正した点に気付く」、③「物語文の叙述を基に登場人物の気持ちを指定字数内で表現する」問題である。

課題

- ①「漢字の読み書き」では、普段慣れ親しんでいない読み方や同じ「へん」や「つくり」をもつ新出漢字の定着に課題が見られる。
- ②「書き直した手紙文を見比べ、読みやすく修正した点に気付く」問題については、読み手を意識して文章を書く際の視点として「文字の大きさや文字」と「文字の間隔」以外に「行の中心を揃える」ことが不足している。
- ③「登場人物の気持ちを表現する」問題については、叙述をおさえることや指定字数内で表現することに課題がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ①漢字テストの直しを徹底するとともに、新出漢字や既習漢字を使って短文作りを行う学習活動を定期的に取り入れ、作文・ワークシート・ノート等を書かせる中でも漢字を使用するよう繰り返し指導する。
 - ②書写の授業を中心に「読みやすい文章の書き方」に必要な視点に気付かせ、日頃の授業の中で作文・ワークシート・ノート等を書かせる際に手本となる事例を紹介して指導する。
 - ③国語で物語文を学習する際に、毎時間、叙述に基づいて感想を述べさせたり書かせたりする指導や字数を指定して自分の考えを表現させる指導を行う。
- 引き続き、読書活動に力を入れ、文字や文章に慣れ親しむ環境をつくる。

※○は、教科全体に関連する改善策。

【算数】**状況の分析****課題**

全体の平均正答率は東京都を1ポイント下回ったが、全国を2.8ポイント上回った。

全16問中6問が東京都と全国を上回り、この内の4問は「思考・判断・表現」の記述式の問題である。これらの問題は、言葉や図・表から他者の考えを読み取り、自分の考えを文章で表現する問題である。

全16問中4問は、東京都と全国を下回った。この内の3問は「知識・技能」の問題で、①「百分率を分数に表す」、②「円グラフから情報を読み取る」、③「ひし形の性質を理解している」だった。もう1問は「思考・判断・表現」を問う問題で、④「目的に応じてデータの特徴を捉える」内容の問題である。

- ①「百分率（25%）を分数で表す」問題と、
- ②「円グラフから情報を読み取る」問題については、問われていることが何か正確に把握することと基礎基本の定着に課題がある。
- ③「ひし形の性質を理解している」かを問う問題については、指示文の意味する進行方向の左右を的確に理解することに課題が見られ、プログラミング的な思考を育む必要がある。
- ④「目的に応じてデータの特徴を捉える」問題については、問題の条件に適した表の読み取り方を理解できていないことが課題である。選択肢や情報量が多い設問に対して、内容を整理して思考することが求められる。

学校で取り組む具体的な改善策

- ①②毎週、木曜日の「ニコ学タイム」を中心に、東京ベーシックドリル等を活用して分からない学年の学習まで遡って基礎基本の定着を図る繰り返しの指導を徹底する。
- ③図形を扱う授業では、操作活動を多く取り入れる指導を継続するとともに、プログラミング的な思考を育む指導を行う。
- ④習熟度に合わせて選択肢や情報量の多い発展的な問題を積極的に取り入れ、情報を整理して思考できるよう指導する。
- 学習者用端末を含むICT機器の効果的な活用や学習形態の工夫などで、自己の考えと友達の考えを比較したり、既習の学習内容を活用して問題を解いたり、課題解決の方法を話し合ったりする場面を多くつくすることでさらに思考力や判断力を向上させる。

※○は、教科全体に関連する改善策。

【理科】**状況の分析****課題**

全体の平均正答率は東京都を2ポイント、全国を0.3ポイント下回った。

全17問中5問が東京都と全国を上回り、その内の4問は「思考・判断・表現」を問う問題（記述式1問、選択式3問）である。

全17問中7問が東京都と全国を下回った。正答率の低い問題を順に挙げると①「実験器具の名称を答える」、②「冬の晴れの日と曇の日の気温のグラフに合う適切なまとめ文を選ぶ」、③「鏡で跳ね返した日光の位置の変化に対応するため、同条件で実験するための実験方法を見直し、新たな手順を書く」問題である。

- ①「実験器具の名称（メスシリンダー）」を問う問題については、実験器具を扱う頻度や器具の名前を意識して使用することに課題がある。
- ②「冬の晴れの日と曇の日の気温のグラフに合う適切なまとめ文を選ぶ」問題については、複数あるグラフの中から比較すべきグラフを適切に選ぶことやグラフの見方に課題が見られる。
- ③「鏡で跳ね返した日光の位置の変化に対応するため、同条件で実験するための実験方法を見直し、新たな手順を書く」問題については、必要な言葉を用いて自分の考えを論理的に表現することに課題がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ①実験器具を用いる際に、器具の名称を分かりやすく掲示したり復唱させたりして定着を図るとともに、定期的の実験器具の名称や扱い方の特徴について復習を行う。また、理科室の掲示を工夫し、各学年の始めにオリエンテーションを開くなどして実験器具に慣れ親しませる指導を行う。
- ②多くの情報の中から必要な情報を的確に選んで考えられるような設問を工夫して指導を行う。
- ②教科書のグラフを読み取る際に、グラフの見方を確認するとともに理科的な見方・考え方を働かせて読み取っている発言を価値付ける。
- ③実験を進める中で必要な言葉を確認し、予想や考察、まとめと論理的に表現させる指導を行う。

【質問紙】

状況の分析

課題

「学ぶ意欲や態度」に関する質問の中で、東京都や全国を上回ったものは「将来の夢や目標をもっていますか」「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦していますか」等であった。東京都や全国を下回ったものは、①「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」という質問である。

「ICTを活用した学習状況」に関する質問の中で東京都や全国を上回った質問は「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」だった。東京都や全国を下回ったものは、②「授業におけるタブレットの活用頻度」に関するものであった。

「主体的・対話的で深い学び」に関する質問の中で東京都や全国を上回った質問は「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」等であった。その中で③「よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」の質問への回答が若干低かったが、下回るものはなかった。

①夢や目標に向かって前向きに粘り強く取り組もうとする意欲はあるものの、夢や目標を実現するための手だてとなる自律的で計画的な学習習慣は身に付いていないことが伺える。「なりたい自分になる」ことに向かって自分自身に何が必要かを考え、それを具体的に考え計画し、実行する力に課題がある。

②「PC・タブレットなどのICT機器の使用が学習に役立つ」と考える児童が多くいる一方、授業での使用頻度は東京都や全国と比較して多くないことが分かる。頻度だけが問題ではないが、市から一人一台貸与されている学習者用端末を効果的に活用することで児童の意欲と学習効果をより一層高めるていくことが課題と言える。

③児童が授業で「自分から学び、他者と関わる中で学びを深めている」と実感していることが分かるが、学習を振り返って新たな問いを生み出し、学びを進めていく段階には達していないと考えられる。これまでの学びから気づきや疑問をもち、新たな問いを見出す力に課題がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ①これまで取り組んでいる学級もあるが家庭学習に「自主学習」を多く取り入れる、長期休業中の課題の学習計画を立てさせる、テスト期間を設けて計画的に学習する習慣を身に付けさせる、「めあて」の実現のための行動計画を立てさせ、それを振り返り再計画させる等の指導を行う。
- ②学習者用端末の効果的な活用について校内研究を進め、毎日の授業や特別活動、家庭学習（持ち帰り）等で活用していく。
- ③「めあて」に正対した「振り返り」を行わせ、キーワードを提示したり考えを共有させたりして、これまでの学習の中から「新たな問い」を見出せるよう指導する。